

田村西見当遺跡

発掘調査結果②

今回の発掘は、西見当遺跡B地区、C地区を主として調査しました。ここは将来、水田であるのをビニールハウス化する予定であり、そのなると遺跡のある場所は杭を何本も打ち込まれ、地下にある大昔の遺構がこわされるからです。特に西見当遺跡のように三十センチ前後の深さで遺構がでる場合は、ことさら発掘調査が必要になります。

C地区は約百五十平方メートルほど発掘しました。その結果、C地区はB地区に接する北部以外は遺跡でないことがわかりました。また、B地区よりも標高が十五センチほど低く、大雨の時には田村川が氾濫したらしく砂礫層が厚く堆積していました。この砂礫層のみられない付近に遺構が残っていて、周溝の一部を発見できたことは大成功でした。この周溝はC地区にある墓地の下で急カーブをして、B地区の南端に出て、B地区西部を通り、昭和三十年に発掘したA地区の環溝につながり、弧状の環溝を作っていたと思われる。この環溝に取り囲まれたなかに住居址や貯蔵穴があり、環溝の底部からはA地区で発見された弥生前期中葉の

水田灌溉のための

周溝の一部を発見

今回の発掘は、西見当遺跡B地区、C地区を主として調査しました。ここは将来、水田であるのをビニールハウス化する予定であり、そのなると遺跡のある場所は杭を何本も打ち込まれ、地下にある大昔の遺構がこわされるからです。特に西見当遺跡のように三十センチ前後の深さで遺構がでる場合は、ことさら発掘調査が必要になります。

C地区は約百五十平方メートルほど発掘しました。その結果、C地区はB地区に接する北部以外は遺跡でないことがわかりました。また、B地区よりも標高が十五センチほど低く、大雨の時には田村川が氾濫したらしく砂礫層が厚く堆積していました。この砂礫層のみられない付近に遺構が残っていて、周溝の一部を発見できたことは大成功でした。この周溝はC地区にある墓地の下で急カーブをして、B地区の南端に出て、B地区西部を通り、昭和三十年に発掘したA地区の環溝につながり、弧状の環溝を作っていたと思われる。この環溝に取り囲まれたなかに住居址や貯蔵穴があり、環溝の底部からはA地区で発見された弥生前期中葉の

ポリ袋収集モデル地区アンケートから

取扱いいよいい54・0パー

取扱いいにくい27・8パー



質問は、「ポリ袋の破損ぐあい」

や「取扱いいよいかどうか」などで、それぞれ次のような結果が示されました。

問1 最初にポリ袋を使用した時どのように感じましたか。

(1) 取扱いい 54・0
(2) 紙袋と同じ 16・5
(3) 取扱いにくい 27・8
(4) 無回答 1・7

問2 ポリ袋に残飯などを入れて収集日まで置いた時に汚水がもれたことは。

(1) 全然もれなかった 59・7
(2) 時々もれた 32・9
(3) もれっぱなし 6・6
(4) 無回答 0・8

問3 破損ぐあいは紙袋と比べるとどうですか。

(1) 破損しにくい 31・8
(2) 紙袋と同じくらい 34・1
(3) 破損しやすい 32・4
(4) 無回答 1・7

問4 ポリ袋の口をしめくくるとどのように感じましたか。

(1) くくりよい 56・8
(2) 紙袋と同じくらい 27・8
(3) すべってくくりにくい 12・5
(4) 無回答 2・9

問5 ポリ袋の口をしめくくるとモは。

(1) 丁度である 72・2
(2) やや短かい 15・3
(3) 短かい 7・4
(4) 無回答 5・1

問6 集積場所までの持ち運びは

(1) 持ち運びやすい 27・8
(2) 紙袋と同じ 46・0
(3) すべって持ち運びにくい 22・2
(4) 無回答 4・0

問7 ゴミ袋を取り付ける容器を使用していますか？使用している家庭はポリ袋を取り付ける時にどのように感じましたか。

(1) 取付けよい 31・3
(2) 紙袋と同じ 11・9
(3) 取付けにくい 9・7
(4) 無回答 47・1

問8 ゴミ集積場所に搬出してあるポリ袋を見てどのように感じましたか。

(1) 大変清潔に感じた 49・4

どうですか。

問1 破損しにくい 31・8
問2 紙袋と同じくらい 34・1
問3 破損しやすい 32・4
問4 無回答 1・7
問5 ポリ袋の口をしめくくるとどのように感じましたか
問6 集積場所までの持ち運びは

どうですか。

問7 ゴミ袋を取り付ける容器を使用していますか？使用している家庭はポリ袋を取り付ける時にどのように感じましたか
問8 ゴミ集積場所に搬出してあるポリ袋を見てどのように感じましたか



「集める人の気持で出そう家のゴミ。市民1人ひとりが気をつけ清潔な町づくりを進めましょう。」

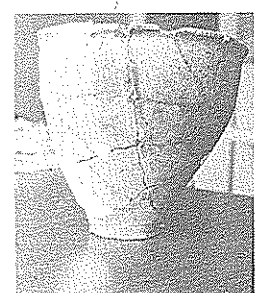
問1 破損しにくい 31・8
問2 紙袋と同じくらい 34・1
問3 破損しやすい 32・4
問4 無回答 1・7
問5 ポリ袋の口をしめくくるとどのように感じましたか
問6 集積場所までの持ち運びは

問7 ゴミ袋を取り付ける容器を使用していますか？使用している家庭はポリ袋を取り付ける時にどのように感じましたか
問8 ゴミ集積場所に搬出してあるポリ袋を見てどのように感じましたか

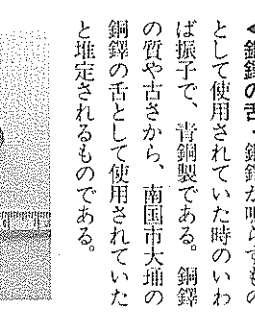


あなたの顔を差しあげます

広報紙にのったあなたの写真を差しあげます。ご希望の方は企画財政課広報広聴係へ、ハガキ、電話(3-2111)でどうぞ。



▶ 甕形土器・食物を煮沸するためのもの。従来発見されていた西見当式土器よりも古く、西見当1式と称すべきものである。高知県中部では最古の弥生式土器である。



▲ 銅鐸の舌・銅鐸が鳴らすものとして使用されていた時のいわば振子で、青銅製である。銅鐸の質や古さから、南門市大地の銅鐸の舌として使用されていたと推定されるものである。

西見当式土器がなかったので、この環溝は弥生前期中葉から、それ以前の弥生前期前半に掘られたものと思われま。

C地区で発掘した環溝は、本質的には集落自衛のためのものとみてよいのですが、周溝のあり方からみて、氾濫原の溢水を取り込みこの環溝を通して水田の灌溉に用いたことも考えられます。

ただ、先回で紹介した銅鐸の舌については、発掘の結果、環溝内から発見されたものに間違いありません。それも環溝上部より約三十センチの深さであるところから、環溝でもV字形断面の溝から逆凸字形断面の溝に変化した地点であることが判明しました。その環溝上部から約三十センチの深さは、西

見当式土器が最も多く発見され、また中期・後期の弥生式土器や須恵器の破片などが混在して発見された層位でもあり、この舌が弥生式土器などの様式のものに伴ったかは残念ながら明確にできません。ただ溝の遺物の埋没の状況からすると、弥生中期においてもこの環溝は完全に埋没していないで、深さ三十〜四十センチの凹地として残っていたと思われる。しかも、それは舌の出土地点から環溝東部に広がる氾濫原の砂礫層の末端にあたり、いわば湧水地点であった可能性が多分にあります。すなわち、この湧水地点に、この舌が埋没されていた可能性が考えられます。